



充実した歌唱教材のラインアップです。

「歌のアルバム」に収めた教材にも学びのポイント「**表現してみよう**」を示しています。

1年

主要教材

- 「青空へのぼろう」
- 「夏の思い出」
- 「明日を信じて」
- 「あの丘の向こうから」
- 「ソーラン節」

比べてみよう

- 「アニー・ローリー」
- 「赤とんぼ」
- 「飛び立とう君の空へ」
- 「かりぼし切り歌」

深めてみよう

- 「希望という名の花を」
- 「この道」
- 「谷茶前」

歌のアルバム

- 「海が明けるよ」
- 「夢は大空を駆ける」
- 「君と歩こう」
- 「心をこめて」
- 「ほらね、」
- 全校合唱「故郷」(同声二部)

2・3年 上

主要教材

- 「生命が羽ばたくとき」
- 「You Can Fly!」
- 「浜辺の歌」
- 「そよぐ風の中で」
- 「この星のどこかで」

比べてみよう

- 「語りあおう」
- 「早春賦」

深めてみよう

- 「大切なもの」
- 「花の街」
- 「時計台の鐘」

歌のアルバム

- 「カントリー・ロード」
- 「雪の降る街を」
- 「HEIWAの鐘」
- 「ほたるの光」
- 全校合唱「故郷」(混声三部)

2・3年 下

主要教材

- 「旅立ちの日に」
- 「花」
- 「時を越えて」

比べてみよう

- 「帰れソレントへ」
- 「荒城の月」

深めてみよう

- 「Top of the World」
- 「荒城の月」(山田耕柞 補作編曲)
- 「椰子の実」

歌のアルバム

- 「記念日～希望のバトン」
- 「アメージング・グレイス」
- 「火の山の子守歌」
- 「世界がひとつの家族のように」
- 「仰げば尊し」
- 「さようなら」
- 「大地讃頌」
- 全校合唱「故郷」(混声四部)

表現してみよう

歌のアルバム「ほらね、」

1年
p.76

歌のアルバム

ほらね、

Lively (生き生きと) ♩-86 ぐらい
[A] *mf*

かわは かぜと か たりあっているよ
mf

SAMPLE

[B] ほらね ほくらは一ひ とりじゃないー
mp
ほらね ひ とりじゃないー
mp
ほらね ほくらは一ひ とりじゃないー

— それでも かなしいひがあつ
[C]

「表現してみよう」強弱の変化や転調の効果を生かして、合わせて歌おう。



学びのユニットは、1年と2・3上は10ユニット、2・3下は8ユニットで構成しています。
地域や学校の実態、生徒の発達段階と学習に応じて、多様な構成が検討できるように配慮しました。

学びのユニット一覧 学びのユニットは「教師用指導書 解説編」(本紙p.40をご参照ください)で展開しています。

「中学音楽 1 音楽のおくりもの」では、A~Jまでの10の学びのユニットで学習することで、学習指導要領を適切に取り扱えるようにしました。各ユニットは、領域・分野ごとに構成し、学習評価までを見通した計画的な学びが展開できます。

ユニット A 歌唱
無理のない自然な声の出し方で歌おう
青空へのぼろう (p.6)
アニー・ローリー (p.10)
希望という名の花 (p.56)

ユニット B 創作
日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう
p.32

ユニット C 鑑賞
弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう
「春」第1楽章 (p.38)
「秋」第1楽章 (p.43)
弦楽合奏のセレナード 第1楽章 (p.61)

ユニット D 歌唱
日本の歌 みんなの歌
曲の形式を生かして歌おう
夏の思い出 (p.14)
赤とんぼ (p.16)
この道 (p.58)

ユニット E 創作
全体の構成を考えながら音楽をつくろう
p.34

ユニット F 鑑賞
歌曲の形式の違いを鑑賞しよう
魔王 (シューベルト) (p.44)
魔王 (ライヒャルト) (p.45)
野ばら (シューベルト) (p.62)

ユニット G 歌唱
音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう
明日を信じて (p.20)
飛び立とう君の空へ (p.22)

ユニット H 鑑賞
箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう
六段の調 (p.48)
鹿の遠音 (p.51)
日本とアジアをつなぐ音 (p.63)

ユニット I 歌唱
民謡の特徴を捉えてふざわしい声で歌おう
ソーラン節 (p.28)
かりぼし切り歌 (p.29)
谷茶前 (p.59)

ユニット J 鑑賞
わが国やアジア地域の多様な声による表現を鑑賞しよう
日本とアジアのさまざまな表現 (p.54)

例 1年

学びのユニットについて

学びのユニット全指導計画(全学年)

ユニット名(題材名)

A~Cは、活動例のページ「すすんで学び合おう」

1年10ユニットと学習指導要領との関係

ユニット	ユニット名(題材名)	A 表現 (1) 歌唱				A 表現 (3) 創作				B 鑑賞				教材 ◇…主教材 …その他、選択可能な教材(例)
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	
A	無理のない自然な声の出し方で歌おう	○	○	○										◇青空へのぼろう アニー・ローリー ・希望という名の花 ・Let's Sing 歌うための準備
B	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう				○	○	○							◇日本語の抑揚を活用する旋律づくり
C	弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう							○			○			◇「春」第1楽章 「秋」第1楽章 ・弦楽合奏のセレナード
D	曲の形式を生かして歌おう	○	○	○										◇夏の思い出 赤とんぼ ・この道 ・Let's Sing 言葉の発声について
E	全体の構成を考えながら音楽をつくろう				○	○	○							◇擬声語や擬態語を活用する音楽づくり ・Let's Try 全体の構成を理解して表現を楽しもう
F	歌曲の形式の違いを鑑賞しよう								○			○		◇魔王(シューベルト) 魔王(ライヒャルト) ・野ばら(シューベルト)
G	音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう	○	○	○										◇明日を信じて 飛び立とう君の空へ ・Let's Sing 変声と混声合唱 ・Let's Try 指揮をしてみよう
H	箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう										○		○	◇六段の調 鹿の遠音 ・日本とアジアをつなぐ音 ・Let's Try 箏(こと)を弾いてみよう
I	民謡の特徴を捉えてふざわしい声で歌おう	○	○	○										◇ソーラン節 かりぼし切り歌 ・谷茶前
J	わが国やアジア地域の多様な声による表現を鑑賞しよう										○		○	◇日本とアジアの声によるさまざまな表現

年間指導計画

1年を例に、学びのユニットの配当時数(例)、教材、取り扱う主な〔共通事項〕、指導事項、学びのユニットの目標などを一覧に示しました。

学びのユニット モデルプラン 1年



SDGs
〈持続可能な開発目標〉
 (→本紙p.39参照)
との関連



目標4
質の高い教育をみんなに
学びのユニット(カリキュラム全体)



目標5
ジェンダー平等を実現しよう
歌うための準備, 変声と混声合唱



目標10
人や国の不平等をなくそう
日本とアジアをつなぐ音,
日本とアジアの声によるさまざまな表現



目標16
平和と公正をすべての人に
「明日を信じて」「飛び立とう君の空へ」

年間指導計画
 (全学年)



期	ユニット	配当時数(例)	ユニット名(題材名)	教材(◇…主要教材)	ユニットで取り扱う主な〔共通事項〕	取り扱う指導事項	ユニットの目標(題材の目標)	その他、選択可能な教材(例)
一学期	前期	A	無理のない自然な声の出し方で歌おう	◇青空へのぼろう アニメ・ローリー 校歌	音色, 旋律, 強弱, 構成	表現・歌唱 イ-(イ) ウ-(ア) ア	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	希望という名の花を Let's Sing 歌うための準備 ←……………
		器楽リ A	タンギングや左手の奏法を身に付けよう	▷リコーダー ◇オーラ・リー ◇メリーさんの羊 リズム de ゴー しりとりの歌 チャイニーズ・ダンス 喜びの歌	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(ア) ア	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運びなどの技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
		B	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	◇日本語の抑揚を活用する旋律づくり	音色, リズム, 旋律, 構成	表現・創作 イ-(ア) ウ ア	音のつながり方の特徴について, 表したいイメージと関わらせて理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な, 課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 創作表現に関わるイ-(ア)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する。 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
	後期	C	弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう	◇「春」第1楽章 「秋」第1楽章	音色, 旋律, 強弱, 形式, 構成	鑑賞 イ-(ア) ア-(ア)	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 鑑賞に関わるイ-(ア)の知識を得たり生かしたりしながら, 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	弦楽合奏のセレナード
		D	曲の形式を生かして歌おう	◇夏の思い出 赤とんぼ	リズム, 旋律, 強弱, 形式, 構成	表現・歌唱 イ-(ア) ウ-(ア) ア	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	この道 Let's Sing 言葉の発声について
		E	構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくろう	◇擬声語や擬態語を活用する音楽づくり	音色, リズム, テクスチャ, 構成	表現・創作 イ-(イ) ウ ア	音素材の特徴及び音の重なり方や反復, 変化, 対照などの構成上の特徴について, 表したいイメージと関わらせて理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な, 課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 創作表現に関わるイ-(イ)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する。 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	Let's Try 全体の構成を理解して表現を楽しもう
二学期	前期	F	歌曲の形式の違いを鑑賞しよう	◇魔王(シューベルト) 魔王(ライヒャルト)	旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	鑑賞 イ-(イ) ア-(イ)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史, 他の芸術との関わりについて理解する。 鑑賞に関わるイ-(イ)の知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	野ばら(シューベルト)
		器楽リ B	右手の運指や低音の奏法を身に付けよう	▷リコーダー ◇ロング・ロング・アゴー ◇ソナタ K.331 うみ アメージング・グレイス	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(イ) ア	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かし, 他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
		G	音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう	◇明日を信じて 飛び立とう君の空へ	旋律, テクスチャ, 強弱, 構成	表現・歌唱 イ-(ア) ウ-(イ) ア	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	Let's Sing 変声と混声合唱 ←…………… Let's Try 指揮をしてみよう
	後期	H	箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	◇六段の調 鹿の遠音	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 構成	鑑賞 イ-(ウ) ア-(ウ)	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と, その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら, 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	日本とアジアをつなぐ音 ←…………… Let's Try 箏(こと)を弾いてみよう
		器楽箏 A	箏の基本的な奏法を身に付けよう	▷箏 ◇さくらさくら 練習曲1 練習曲2	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(ア) ア	箏の音色と奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や楽譜の読み方などの技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
		I	民謡の特徴を捉えてふざわしい声で歌おう	◇ソーラン節 かりぼし切り歌	音色, リズム, 旋律, テクスチャ, 構成	表現・歌唱 イ-(イ) ウ-(イ) ア	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	谷茶前
三学期	J	わが国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう	◇日本とアジアの声によるさまざまな表現 ・天台声明・八木節 ・江差追分・ケチャ ・ホーミー・布農(ブヌン)族の合唱	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 構成	鑑賞 イ-(ウ) ア-(イ)	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と, その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	10 Let's Try	
	器楽箏	箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▷箏 ◇ひらいたひらいた ◇さくらさくら たこたこあがれ	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(ア) ア	箏の音色と奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまゆりや音の出し方, 運びなどの技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		



1年を例に、各ユニットで取り扱う指導事項、評価の観点、評価規準を一覧に示しました。

モデルプラン 1年

ユニット	ユニット名(題材名)	取り扱う指導事項	評価の観点	ユニット(題材)の評価規準	
A	無理のない自然な声の出方で歌おう	表現・歌唱	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 A	タンギングや左手の運指を身に付けよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(リコーダーの音色と奏法との関わり、曲想と音楽の構造との関わり)や技能(タンギングや左手の運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
B	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	表現・創作	イ-(ア) ウ	知識・技能	言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解している。歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	創作表現に関わる知識(言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴)や技能(歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
C	弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう	鑑賞	イ-(ア)	知識・技能	曲想とリトルネロ形式やソネットとの関わりについて理解している。
			ア-(ア)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(曲想とリトルネロ形式やソネットとの関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
D	曲の形式を生かして歌おう	表現・歌唱	イ-(ア) ウ-(ア)	知識・技能	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音などを身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
E	構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくろう	表現・創作	イ-(イ) ウ	知識・技能	言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	創作表現に関わる知識(言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴)や技能(テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
F	歌曲の形式の違いを鑑賞しよう	鑑賞	イ-(イ)	知識・技能	歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。
			ア-(イ)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わり)を得たり生かしたりしながら、作曲当時の歌曲の意味や形式の違いについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

ユニット	ユニット名(題材名)	取り扱う指導事項	評価の観点	ユニット(題材)の評価規準	
器楽 B	右手の運指や低音の奏法を身に付けよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(イ)	知識・技能	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かし、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わり)や技能(他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
G	音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう	表現・歌唱	イ-(ア) ウ-(イ)	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
H	箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	鑑賞	イ-(ア)	知識・技能	箏や尺八の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性について理解している。
			ア-(ウ)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(箏や尺八の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性)を得たり生かしたりしながら、箏曲と尺八曲との共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 A	箏の基本的な奏法を身に付けよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	箏の音色と奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(箏の音色と奏法との関わり)や技能(右手の使い方や縦譜の読み方など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
I	民謡の特徴を捉えてふざわしい声で歌おう	表現・歌唱	イ-(イ) ウ-(イ)	知識・技能	声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わりについて理解している。囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わり)や技能(囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
J	わが国やアジア地域の多様な声による表現を鑑賞しよう	鑑賞	イ-(ウ)	知識・技能	我が国やアジア地域の声による表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。
			ア-(イ)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(我が国やアジア地域の歌唱表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 篠笛	篠笛の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	篠笛の音色と奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や音の出し方、運指などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(篠笛の音色と奏法との関わり)や技能(かまえ方や音の出し方、運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。